

岩国総合高校だより

「見つけよう夢 見つけよう未来」

発行日 平成29(2017)年12月20日
発行者 山口県立岩国総合高等学校
校長 金石芳朗
TEL 0827-31-6155
HP <http://www.iwakunisogo-h.ysn21.jp>

お世話になっている地域に清掃ボランティア活動で貢献

北風が日に日に冷たさを増してきました。学校は第4期考査を無事終了し、今週末から冬休みを迎えます。冬休みを控え生徒達が楽しそうに話している光景をよく見かけます。

考査最終日の12月7日(木)の午後、年末恒例の清掃ボランティア活動を実施しました。天候にも恵まれ、師走の青空の下、部活動、生徒会、家庭クラブなどの生徒や教職員、約140名が、登校坂、藤生駅周辺までの通学路、本校近隣の公園、本校周辺道路など3カ所に分かれて、落ち葉やゴミ拾いを行いました。

本校は、今年度も「やまぐちエコリーダーズスクール」として、年度当初に、生徒会、部活動、家庭クラブが中心となって、環境問題やエネルギー・資源の問題に主体的な活動をするを行動宣言しています。今年度は特に、地域のボランティア活動や清掃活動に力を入れて、地域貢献に一層取り組んでいます。この清掃ボランティア活動もその一環です。

日頃お世話になっている地域の方々に、感謝の気持ちを込め最後まで、笑顔で元気に清掃活動に汗を流しました。



通学路の清掃



公園の清掃



学校周辺の清掃

社会人講話「良い会社をつくる」

11月10日(金)の午後、1・2年次生を対象とした、社会人講話を、岩国市と山口県若者就職支援センターの御協力を得て実施しました。講師は、(株)山陽イエローハット代表取締役の多田彰生社長です。

良い会社をつくるための社長の方針、会社の社訓、多田社長の考えるリーダー像について教わりました。夢を叶えた方のお話を生徒達は真剣に聞きました。



多田彰生社長

ブックトークで人間関係を育む

11月17日(金)の6限、ロングホームルームの時間に、読書を通じて考えたことを発表し、読書の大切さを実感して、よりよい人間関係を育むことを目的にしたブックトークを全校一斉に行いました。

1年次生は各クラス、2・3年次生は国語表現の授業ごとに分かれ、図書委員の進行と担当教員の支援により、楽しい雰囲気の中で本について語り合いました。



読んだ本の紹介

2年次 落語から学ぶプレゼン術

11月1日(水)の5・6限、2年次の「総合的な学習の時間(Wise Person21)」において、東京都立浅草高等学校教諭の中野英樹先生をお招きして、「落語から学ぶプレゼンテーション術」と題した講演を聞きました。

落語の技を使って、プレゼンテーションで相手の心をとらえる手法を学びました。



校内ハングルスピーチコンテスト

11月30日(木)の3・4限、ハングルaの授業において、「ハングルスピーチコンテスト in 岩国総合」を行いました。審査員として、大韓民国教育部下関韓国教育院の朴熙喆(パクヒョク)院長をお迎えしました。

生徒は学習の成果を存分に披露し、朴院長からお褒めの言葉をいただきました。



3年次 課題研究校内発表会

12月14日(木)の5・6限、3年次生の「課題研究」において、各研究グループの代表者11名が、研究成果を発表しました。今回の校内発表会では、最終発表者8名を選びました。選ばれた8名は、1月12日(金)にシンフォニア岩国で開催する課題研究発表会で発表します。多数のお越しをお待ちしています。



【12月下旬～2月中旬の予定】

- 12月22日(金) 冬休み前全校集会
- 12月29日(金)～1月3日(水) 年末年始の閉校
- 1月9日(火) 冬休み明け全校集会
- 1月9日(火) 基礎力診断テスト・到達度テスト
- 1月12日(金) 課題研究発表会(シンフォニア岩国)
- 1月18日(木) 3年 第5期考査時間割発表
- 1月25日(木)～31日(水) 3年 第5期考査
- 1月25日(木) 学校保健安全委員会
- 1月25日(木) 第2回PTA役員会
- 2月1日(木) 3年 家庭学習開始(週1回登校)
- 2月7日(水) 推薦入試(家庭学習)
- 2月15日(木) 1年 県内進学・仕事魅力発信フェア
- 2月20日(火) 1・2年 第5期考査時間割発表
- 2月22日(木) 1年 ライフプラン発表会
- 2月22日(木) 第2回学校評議員会

週頭朝礼校長講話

平成29年12月11日（月）

「地域とつながる清掃ボランティア活動」

先週で第4期考査が終了しました。お疲れ様でした。

さて、考査最終日の木曜日は、午後から、やまぐちエコリーダースクールの地域貢献活動の一環として、日頃お世話になっている地域の清掃ボランティア活動を実施しました。

部活動・生徒会・家庭クラブを中心に、本校生徒の3分の1に相当する120名以上の生徒のみなさんと有志の先生方20名以上、合計140名以上が清掃ボランティア活動に参加してくれました。

登校坂の落ち葉拾い、藤生駅までの通学路や本校周辺の道路や公園のゴミ拾いに、約1時間、意欲的に取り組んでくれた結果、大変きれいになりました。

本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

私が、毎年、このボランティア清掃活動に参加してとてもうれしく思うのは、参加した生徒の皆さんがみんな楽しそうに清掃活動をしていることです。

そして、地域の方が通りかかると、生徒の皆さんが「こんにちは」と元気よく挨拶をすると、地域の方から「こんにちは、お疲れ様です」と笑顔で挨拶が返ってきて、とてもほほえましい光景を見ることができることです。

私は、地域の社会福祉協議会や自治会の方が出席される会合に毎月参加しています。そのときに、藤生地区の自治会長さんから、自治会でも定期的に清掃活動をしていて、総合生の皆さんが日頃使っている藤生駅から本校までの通路に、はみ出した草も刈ってくださっているという話を聞きました。

清掃活動の当日、私もその通路を清掃しましたが、刈って間もない草が少し残っていました。そこで、近くにいた運動部の部員と一緒にその草も併せて集めました。そのことは何か、地域の方と連携して協働作業をした感じがしました。

地域の会合では、本藤生地区（学校の南側の地区）でその地域に伝わる伝統芸能（神楽）の伝承に携わっておられる方がいらっしゃいました。

その方は次のようにおっしゃっていました。「総合高校の生徒にはとても期待しています。総合高校の生徒にはこの地域の良さをもっと知ってほしい。地域の伝統文化についても知ってほしい。将来は、この地域に戻ってきて地域を支え、元気にしてほしい」

この話を聞いて、改めて地域と学校はつながって、お互いに支え合いながら発展していくのだなと思いました。

そういう意味で、先週の清掃ボランティア活動は、地域とつながって支え合うとても大切な活動だったと、実感しました。

これからも、皆さんを支えてくださる地域の方や家族に感謝の気持ちを持って、自分の将来の夢に向かって、日々の学習や部活動や学校行事に地道に取り組みましょう。